



ようやく秋らしくなりましたね。食欲、芸術、スポーツの秋。皆さまはどんな秋を楽しまれているでしょうか。新米の感想を下された皆さま、ありがとうございました。新米はやはり格別です。我が家では少し残ってしまった去年のお米をせっせと酢飯にして食べました。

さて、1ヶ月以上続いた稲刈り作業がようやく終わりを迎えました。我が家の分だけでなく、他所の稲刈りを請け負っているため、作業量以上の心労がかかっている様子。今年は雨がほとんど降らなかったため、休みがとれませんでした。日記をつけているうちに、毎年この時期に大きな夫婦喧嘩が起きていることに気づいた耕太。今年はストレスをうちに持ち込まないように心がけてくれたため、ケンカもせずに稲刈りシーズンを乗り切りました(笑)。



ところが、稲刈りが終わってもホッと一息休んではいられません。通称「ワラあげ」(ワラをロールにして格納する作業)と牧草の種まきが待っています。ワラを乾燥させたものは、牛たちの冬場のエサとなります。国産無農薬&微農薬の嬉しい食事。夏場は放牧場で好きな草を食べている彼らですが、冬場にもそれなりに贅沢をしている...というのは私の勝手な見方でしょうか!?



10月4日、我が家の暮らしがNHKのBSハイビジョンで紹介されました。「おなじ屋根の下で」という番組で、家族の日常を撮ったドキュメンタリー。いったいどんな番組になっているのか、ドキドキしながら放送日を迎えましたが、一言で感想を言えば「さすがドキュメンタリー」。美化されているわけでもなければ、コケにされているわけでもない。我が家の暮らしがありのままに映し出されていました。BSハイビジョンは見れない、という方は、ホームページだけでもちらりと見てくだされば、簡単な紹介文がご覧になれます。



(<http://www.nhk.or.jp/yane/story/index.html>)

9月20日には、またまた長崎から修学旅行の小学生が10人やってきました。今回のテーマは「農家のヨメ体験」。その名の通り、私(えり)が受け入れを担当しました。昼過ぎにやってきて、まずはご挨拶。それから稲刈りの終わった田んぼに移動して、束ねてあるワラを立てる作業を一緒にしました。これは、牛用とは別にとっておいてあるワラで、菜園などに使うためのもの。去年は近所のおじさんに教えてもらって、「こづみ」というのを作りまし

た。乾燥したワラを積んでいって、雨風に当たっても大丈夫な形にするもので、秋から冬の農村風景をひきたてます。昔は縄や草鞋を編むためにも使っていたというワラ。積んでおくことで、ちょうどいい乾燥具合に保たれるのだそうです。

ワラ立てが終わったら、キュウリ畑に行って、残ったキュウリの収穫。手入れをしてないので、いろーんな形のキュウリがところどころになっている程度でしたが、「キュウリってトゲがあるんだ！」という子供たちの声を聞き、あぁ見せてよかったと思いました。長崎市内の小学校に通う彼ら。

なんと、「カエルを初めて見た」という子がいてびっくり。東京育ちの私でさえカエルくらい見たことがあります（苦手でしたが）。観察力の問題なのか、本当にあまりいないのか。子供たちを受け入れることの大切さを感じました。

ここで一旦家に戻って、おやつ作り。お彼岸前だったので、おはぎをつくりました。蒸したもち米をそれぞれ好きな程度に潰し、煮ておいたあんこを周りにつけます。なんだかみんな手についた米やあんこを舐めている量の方が多かったような気もしますが、それもまたよし。できたてのおはぎを持って、放牧場まで行きました！牛を見て「おお～っ」、外輪山から阿蘇を眺めて「おお～っ」、自分たちでつくったおはぎを食べて「おお～っ」。けっこう楽しんでくれたようで、よかったです。



さて、O2ファームの話はこれ位にして、今回は私(えり)が仕事で行った天草でのこと。「九州国際学生会議」という難しい名前のイベントに学生のまとめ役として呼ばれ、子供たちと義父母も一緒に行ってきました。同じ熊本県といっても、天草は熊本空港から飛行機が飛んでいるほど。その会議は、九州一円から集まった日本人学生と留学生が、地球環境のことを話し合おう、ということで開かれました。「日本で食べている納豆や豆腐の原料となるダイズの多くは、アマゾンの熱帯雨林を焼いて作った畑で作っている」というショッキングな講演を聞いた後、10人ほどの小グループに分かれた学生たち。「安いから買う」とか「学生だから何もできない」では許されないことを認識し、「自分たちはどうしていけばよいか」、を2日に渡って喧々諤々と話し合います。3日目の発表では、「自分の国の農業を大切にすることが、ひいては地球環境の保全にまでつながる」という趣旨の結論を、それぞれのグループらしい形で披露。最初は学生の熱気に押され気味だった私ですが、若者たちが国境を越えて、日本の農業について考える機会を持ってくれたことを、とても嬉しく感じました。それにしては留学生たちの日本語が上手なこと！本当にまじめな学生たちでした。

朝晩が冷え込み始めました。どうぞ皆さま体調を崩されませんよう、お気をつけください。

